

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立みなと科学館						
指定管理者	トータルメディア・東急コミュニティーみなと科学館運営グループ						
指定期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 12 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	教育委員会事務局学校教育部教育指導担当						

2 職員体制

(単位：人)

	正規		非正規		委託(シルバー人材センター等)	合計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤			
職員数	5	4	1	24	16	8	29
		令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考
正規・非正規職員の退職者数	1						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考
施設利用者数	418,709					
講座開催数	511					

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考
経費実績	収入	392,254,764	0	0	0	0	
	指定管理料(清算後)	370,690,584					
	利用料金収入						
	その他収入	21,564,180					
	支出	370,442,758	0	0	0	0	
	職員人件費	177,462,938					
	光熱水費	8,487,868					
	修繕費	4,508,350					
	事業運営費	89,677,428					
	施設管理経費	15,121,174					
その他経費	75,185,000						
差引収支額	21,812,006	0	0	0	0		
年度協定書で定める指定管理料	372,211,189						

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / 5	×	- / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	×	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	3 / 5	×	6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×	15 / 15
区による評価合計点				91 / 100	

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「-：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	令和7年度は、実験室やプラネタリウムの利用者数が過去最高を記録し、年間利用者数が昨年対比約112%となる41万8千人を突破し、5年連続の増加を達成する活気ある1年となりました。今年度は利用者の多様なニーズに応え、より多くの方が様々な方面から科学に触れる機会を提供するため、年4回にわたりテレビ番組や気象庁とのコラボ、絵本、進化などをテーマにした多彩な企画展を開催し、幅広い層への科学情報の提供と賑わいの創出を図りました。さらに、過去最高の観覧者数を記録したプラネタリウムでは、未就学児や視覚障害者向けの番組に加え、外国人利用者の満足度向上のための英語副音声対応など、多様なラインナップを用意するとともに、移動プラネタリウムの実施により新規層の開拓を進めました。運営面においては、公式ホームページのリニューアルによるデザイン刷新と講座申し込みシステムの利便性向上を図り、オンラインでのスムーズな手続きを可能にすることで、来館者が年間を通じて手軽にイベントや講座へ参加できる環境を整えました。加えて、市民が運営側として関わる機会を創出するべく、「子どもとつくるサイエンスショー」や「プラネタリウム解説体験」といった市民参画への試みも実施しております。今後も、新規やリピーターの獲得に向けて魅力的なプログラムの提供と情報発信に努めてまいります。
区（施設所管課）による評価	基本協定及び事業計画書等に基づき、適切に事業運営を行いました。話題性の高い番組との連携、幅広い世代に向けた企画を通じ、新規来館者層の獲得に貢献するとともに、賑わいの創出に寄与しました。また、移動プラネタリウムや気象庁との連携によるプラネタリウム投影の実施により、立地特性を生かした取組を展開した結果、観覧者数は過去最高、来館者数も5年連続増加しました。さらに、利用者アンケートでは職員対応への評価が高く、利用者寄り添った運営が継続されている点も評価できます。今後も区と指定管理者が連携し、区民が科学に親しむ拠点として、更なる魅力向上を図ってまいります。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

S

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
- A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
- B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
- C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）